



子ども平和新聞

ピースアクションinヒロシマに参加したあと、ふりかえりをまとめよう。

日付: 2026.8.5日~7日

学年: 中学2年

名前: 稲葉 邦花



「あたり前の日常があることを大切にする！」



心に残ったこと



私は、同じ中学生の方たちが学校で多く亡くなったことを知り、自分がこの時代にも生きていたとしたら自分もここに名前が書いてあったかもしれないと思うと、とても身近に思うことができたし、胸がつぶれるような思いになりました。

また、袋町小学校では、原爆で生き残った人々が家族に助けを求めるようなメッセージがたくさん残されており、原爆で亡くなっても生き残っても

つらい思いをするのはとても悲惨なものだと感じました。



平和について考えたこと



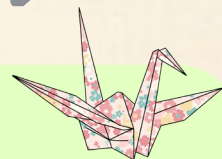
私が生まれてきた時代にはもう戦争と言うものはなく、このような悲惨なものは体験したことはありませんが、戦争はたくさんの人の命を奪うものであり、誰も得をしないような人々の悲しみや苦しみだけが残るので、誰もが健全な心を持ち、少しずつでもこのような悲惨な体験を減らしていけるような平和な環境づくりが大切だと思います。もう体験者の言葉を聞くことができるのは最後の世代になると思いますが、原爆でたくさんの人が亡くなったという事実は変わらないので、後の世代にも伝え、戦争と平和について考え続ける必要があると思いました。



わたしの平和宣言

差別や偏見に流されないこと

今、自分たちが平和に生きていることがあたり前のことではないということを忘れずに相手の気持ちや考えを尊重することを大切にしたいと思います。





子ども平和新聞

ピースアクションinヒロシマに参加したあと、ふりかえりをまとめよう。

日付: 2026.8.5日~7日

学年: 小学6年

名前: 和田 悠佑



家族がいることへの感謝、安全・安心な毎日への感謝を忘れてはいけない

心に残ったこと



8月6日8時15分にたった1発の原子爆弾が放たれ、広島町、命、そして心も壊れていった。たった1発の原子爆弾が広島に住民だけでなく、捕虜までも殺してしまったことを知った。そこで僕が心に残った事は、二度と起こしてはいけない、過ちを絶対に忘れてはいけない。戦争は、絶対に起こしてはいけないということだった。さらに、パンフレットや動画で見て広島、長崎の原子爆弾のことを資料だけで理解するのではなく、実際に見に行ったり体験したりすることの大事さが分かった。



マルセル・ジュノー博士がたくさんの薬や医療の材料を届けてくれた。さらに、ノーマン・カズンズ氏が原始爆弾で親子を無くした人を精神的・経済的に援助した。ノーマン氏の言葉、「世界平和は努力しなければ達成できない、目標を明確に定め責任ある行動をとることこそ人類に課せられた責務である。」と刻まれている。



みんなの気持ちが強く表されている灯籠流し。ぼくは、「平和続行」「笑顔」という言葉を書いた。「二度と戦争を起こさないように」思いながら流した。

平和について考えたこと



1日目の「ピースアクションinヒロシマ」での紺野美沙子さんの朗読を聞いたり、絵画作品を見たりして、当時の様子を知りゾッとした。目が飛び出ている人、皮膚が剥けている人、死体が積み重なっている様子など想像以上だった。また、灯籠流しで平和の気持ち・心得を書き、灯籠流しの意味や大切さが分かった。広島の人々の気持ち、「戦争をなくす」「平和が続いてほしい」「笑顔を絶やさない」という思いをもった人が多くいて、原爆の恐ろしさを忘れずにいようという気持ちがあるのだと思った。



わたしの平和宣言

3つのことを忘れずに生活していく

- ・戦争や原爆を知る
- ・戦争を起こさない
- ・ケンカをしても暴力ではなく、話し合いをして仲直りをする





子ども平和新聞

ピースアクションinヒロシマに参加したあと、ふりかえりをまとめよう。

日付: 2026.8.5日~7日

学年: 中学1年

名前: 國井 美咲輝



原爆の恐ろしさや平和の尊さを風化させない



“

心に残ったこと



生命力の強さを伝える被爆樹木
一度、この木は黒焦げになりながらも根を張り、大きく葉を広げ、葉を茂らせ、生き生きと伸び続ける姿は「どんな困難の中でも命は繋がり、立ち上がる」という生命力を感じました。

”



“

平和について考えたこと



特に原爆ドームを目にした時、たったひとつの爆弾によって多くの尊い命が奪われたのだと実感しました。そして、平和な今を生きている私達に「二度とこのような悲劇を繰り返してはならない」という強いメッセージを放っているように思いました。

”



わたしの平和宣言

平和を繋いでいくために、人の痛みに耳を傾け、共に寄り添い、共に助けあう力が大切だとこの三日間でよく知ることができました。原爆や、平和の話を私達が次の世代に繋げるためにも家族や友達にこの話を伝えていきたいです。

